

当社は下記の通り、自動車船向け新型火災検知システムに関する共同研究開発契約の締結を致しました。

自動車船向け新型火災検知システムに関する共同研究開発契約の締結

日本船用エレクトロニクス株式会社（以下、「当社」）は、川崎汽船株式会社(注1)、株式会社オプトゲート(注2)と光学技術を応用した、船舶向けの新型火災検知システムに関する共同研究開発契約を締結しました。

昨今、自動車船においては、従来のガソリン車に加え、新たに電気自動車の輸送機会が増加しています。電気自動車に搭載されているリチウムイオンバッテリーは発火した場合、燃焼が急速に進行する傾向があると言われており、より早期に火災を発見し、消火活動に取り組むことが重要です。本研究では、既存の船舶用煙検知器よりも早期にまた高精度に火災を検知することを目的として開発を進め、上記の課題に取り組むものです。

注1 川崎汽船株式会社(本社：東京都)

大正8年に設立。海上輸送を中心とした総合物流企業で、グローバルに幅広いサービスを提供する。安全で高品質な輸送サービスを追求すると同時に環境負荷を軽減し、持続可能な社会の実現に向けて取り組む。

注2 株式会社オプトゲート(本社：東京都)

平成17年に設立。光エレクトロニクス事業を中心に光製品全般の製造及び設計を得意とする。また、光製品の信頼性評価、分析、技術支援なども行う。

2024年3月25日
代表取締役社長 越谷 和久